# 自然教育園見ごろ情報

**2026年11月5日号**

附属自然教育園 検索

詳しくはＨＰの「見ごろ情報」をご覧ください
https://ins.kahaku.go.jp/

**今週はここに注目！**

ムラサキシキブの実が色づきました！





## ガマズミ（実）

山地や丘陵地の明るい林や草原に生える落葉低木です。春に白い花を咲かせ、秋には赤い実をつけます。赤く熟した果実は、ジャムや果実酒にもなります。



花（5月）



## コウヤボウキ

明るい林の縁などに生育する低木で、キクの仲間です。高野箒（こうやぼうき）の名前は、細い枝が丈夫でしなやかなため、高野山で束ねて箒に使ったことによります。



## アワコガネギク

黄金色の花が泡のように集まって咲くことから名前がつきました。別名はキクタニギクで、自生していた京都を流れる菊谷川の上流地域「菊渓（きくたに）」にちなみます。



## ムラサキシキブ（実）

美しい紫色の実を、源氏物語の作者「紫式部」の名前にたとえ、この名前がついたと言われています。






水辺でみられます

## カルガモ

街中の公園でもみられる身近なカモ。池にのんびり浮いていたり、水中に顔をつっこんで餌を探す様子などが見られます。



## カラスウリ（実）

山野の林縁や藪かげなどで、草木にからみついて成長します。夏の夜に白い花を咲かせ、秋に楕円形の赤い実をつけます。この実は、薬として、肌荒れや鎮痛、咳止め、消炎剤などに利用されました。



花（8月）



## サネカズラ（実）

鮮やかな赤い実がたくさん集まってボール状になります。つやのある色合いが食欲をそそりますが、あまり甘みはないようで、食用にはされません。野鳥にもあまり人気がないようです。



## ヤツデ

おしべ→めしべの順で熟し、めしべが熟す時期にはおしべはなくなります。これは、同じ花の花粉がめしべにつく「自家受粉（じかじゅふん）」を避ける仕組みです。7～9裂する掌のような大きな葉が特徴です。

天然記念物及び史跡
科博 自然教育園

©2026　独立行政法人国立科学博物館附属自然教育園